

会議の名称	第13回 東村山駅周辺まちづくり協議会				
開催日時	平成 23 年 3 月 24 日 (木) 19:00 ~ 21:00				
開催場所	市民センター2階第1・第2会議室				
出席者 及び欠席者	出席者： (委員) 野口町1丁目自治会・野口町2丁目自治会・ 仲好会自治会・美友自治会・本町1丁目自治会 本町2丁目自治会・久米川町4丁目自治会・東村山市商工会 東村山駅東口商店会・東村山駅西口共栄会・野口町親和会 東村山駅周辺まちづくり研究会・東村山青年会議所 18人 (UD) ア・バ・ソ・デ・ザ イ東村山会議 中谷氏・棚田氏・益田氏・中村氏 増田氏・三上氏・川俣氏・川島氏・小町氏・茂貫氏・萩澤氏 (事務局) 渡部市長・須崎まちづくり担当部長 まちづくり推進課：山下課長・谷主査・川崎主任・若林主事 産業振興課：竹部係長 用地・事業課：長谷川主任 交通課：藤澤主事 (コソル) 日本交通計画協会 幡歩氏・小浦氏・鈴木氏				
傍聴の可否	傍聴可	傍聴不可の 場合はその 理由		傍聴者数	0 人
会議次第	1. 開会 2. 議事 1) 事例紹介及び状況報告 2) ワークショップ ・ 駅周辺整備の方向性を考える ・ 発表 3. 閉会				
問合せ先	都市環境部まちづくり推進課 担当者名 谷・川崎・若林 電話：042(393)5111 FAX:042(397)9438				
会 議 経 過					
配布資料： 第12回 東村山駅周辺まちづくり協議会 議事録					

1. 開会

- 1) まちづくり推進課長よりあいさつ
- 2) 本日の会議内容・進行について説明を行った。
- 3) 事務局、UD、コンサルの紹介
- 4) 新規参加協議会委員の紹介

2. 議事（ワークショップ）

（座長）

- ・本日の協議会に傍聴者希望者はいますか。

（事務局）

- ・本日は、傍聴希望者はおりません。

（座長）

- ・傍聴希望者はなし、ということなので引き続き協議を進行します。

1) 事例紹介及び状況報告

（事務局）

- ・ワークショップにあたって、参考となる連続立体交差事業の事例について、スライドを使って説明を行った。

2) ワークショップ

UDより、駅周辺に求める機能について、駅周辺整備の課題や駅周辺の交通ネットワークを中心に整理し、スライドを使って説明を行った。

事務局より、これまでの意見から分類・整理した駅周辺に求める機能について説明を行った。

事務局より、ワークショップについて説明を行った。

- ・テーマ：「駅周辺整備の方向性について考える」
- ・本日は、これまで皆様からいただいたご意見や「東村山駅周辺まちづくり基本構想」に示された駅周辺の将来像等を念頭においていただき、連続立体交差化を踏まえた東村山駅周辺整備の方向性について、活発な意見交換をしていただきたいと思います。特に、今回は、駅周辺に求められる機能として考えられる、拠点機能や交通機能、商業機能や景観機能など、これらの機能について、どの機能に重点をおきたいか、どのような機能が必要かなどについて、ご意見等いただきたいと思いを。

ワークショップ

- ・参加者をAグループ、Bグループの2グループに分け、ワークショップを実施。

発表

・ワークショップにより出された主な意見等を、各グループの代表者が発表した。

(Aグループ)

- ・アクセスを良くするだけでなく、電車から車やバスへ乗り換える際に、立ち寄ってもらえるような魅力のあるまちにしたい。
- ・東村山駅周辺の将来像である「出会い」「ふれあい」があり、ぶらぶらと歩いて楽しいまちづくりを目指して、歩行者を重視した空間にしてほしい。
- ・人を重視した楽しい広場のあるまちづくりを行い、子どもやお年寄りが安心して集えるようにしたい。
- ・高架下には商業施設を設けるとよい。
- ・自動車の東西アクセスは、バスやタクシーなど公共交通に限定し、大型車や通過交通が通らないような工夫をしたらよい。
- ・大型車や通過交通は、東村山3・4・10号線や鷹の道に誘導したい。
- ・市民にとって絶対に譲れない点を明確にする必要がある。その譲れない点は、市が鉄道会社にしっかり伝えていくべきである。
- ・バスの路線数を増やし、利便性が高まれば、周辺地域からも人が集まるのではないかと。
- ・東西のロータリーをつなぐ道路は、必要である。
- ・まちづくりを考える際に、20年、30年先の将来を見通した考えを持つべきである。
- ・東村山3・4・27号と東村山3・4・29号を、車も通れるかたちで桜通りにつなげることで、桜通りの賑やかさが西口周辺につながっていくのではないかと。
- ・桜通りと西口ロータリーをつなげれば、まちづくりの勢いが増すのではないかと。
- ・市外からも人を集めるためには、自動車交通の利便性を上げるような道路の整備が重要である。
- ・阿佐ヶ谷駅周辺の商店街を参考にして、自動車の利用者を考慮し、中心部に車を通して、パーキングは駅周辺に整備したらどうだろうか。
- ・八国山や正福寺等の観光名所と駅を接続する道路を整備し、その入口として駅前広場があるような観光に配慮した整備が重要である。
- ・駅に隣接する大規模店舗を整備し、それと連携した商店街の活性化が出来れば理想的である。
- ・ロータリーに車を入れて、駅周辺で車が循環するような方法が出来るのではないかと。
- ・防災面を考慮して駅を中心に緊急車両が通行できたらよい。現状では、鷹の道や大踏切での渋滞に影響されることがある。

(Bグループ)

- ・駅の自由通路は、歩行者が24時間通れるようにするなど、歩行者が安心して東西を通行出来る空間にしたい。

- ・ 駅を中心部には出来るだけ車を入れないで、車は、主に鷹の道や大踏切駅等の駅の周辺で通る方法がよい。
- ・ 北口と南口の両方に改札口を整備してほしい。
- ・ 駅前広場は、雨がしのげる空間とオープンなスペースの両方があるとよい。
- ・ イベントがいつでも出来るような広場を整備するために、駅前広場の平面や配置については、検討や工夫が必要である。
- ・ 東口と西口のそれぞれの特色をいかしたまちづくりが重要である。
- ・ 東口の特徴は、商業施設が多く、歩道も広いので、歩道を上手くロータリーまで接続したい。
- ・ 西口では、現状よりも歩道を広くとり、観光地に接続させるなど、観光を重視したまちづくりができるのではないか。

市長あいさつ

3. 閉会